

続け未来へ つなげ天白



天白区制50周年
記念誌

天白区制50周年記念誌



いしだ きよはる
石田 清春
(名古屋市立若宮商業高等学校)



いわさき そら
岩崎 創良
(名古屋市立若宮商業高等学校)



ゴンザレス キアラ
(名古屋市立若宮商業高等学校)



天白区制50周年記念
事業実行委員会
会長 山田 敬一

天白区制50周年記念誌の発刊にあたって

天白区は今年、区制50周年の節目を迎えました。
人口は50年の間に倍近くに増え、天白区内の学区も当初は9学区であったものが今や17学区となりました。
私がこれまで区政協力委員として活動してきた中で、夏祭りや運動会などの地域行事を通して、地域の皆さまの笑顔に触れたり、地域の色々な方々とのつながりが深まったりといった楽しみが多くありました。
天白区では、それぞれの学区で地域役員の皆さまが大変熱心に学区運営に取り組まれ、工夫を凝らした事業を実施していらっしゃいます。
そこにはたくさんの地域住民の笑顔があふれております。
そのような機会を通じて、住民同士のつながりが一層深まっていることを感じております。
この記念誌は、こうした魅力あふれる学区の行事や普段の活動の様子に加え、50周年を記念して実施した事業の記録をまとめたものです。
様々な事業の実施にご協力いただいた多くの皆さまに感謝するとともに、50周年を迎えた今の天白区の姿をご覧いただき、未来へと思いをはせていただければ幸いです。
「続け未来へ。つなげ天白」



天白区長
水野 一裕

天白区制50周年記念誌発刊に寄せて

天白区が誕生して満50年を迎え、この度記念誌が発刊されますこと、心からお祝い申し上げます。
昭和50年に昭和区から独立して半世紀、私たちのまち天白区は、名古屋市という都会にありながら、今なお豊かな緑に恵まれ、自然と調和を保ちつつ発展してまいりました。
これまで、「ホッとするまち『好きだよ、天白。』」を合言葉に、区民の皆様が、地域を想い、地域をより良くする活動に熱心に取り組まれ、区政運営にも多大なお力添えを賜ってまいりました。
次の50年も、豊かな自然、先人の輝かしい叡智と功績、そして区制50周年記念事業などにより、さらに高まった「地域のつながり・絆」が大いなる礎となり、天白区がさらに住み良いまちとして発展してまいりますことを心よりご祈念申し上げ、記念誌発刊の挨拶とさせていただきます。

も く じ

学区紹介	4
天白区制50周年特別記念事業 かぼっちミーティングinコミセン	21
まるごとてんぱく語りおろし ～各学区区政協力委員会委員長座談会～	32
天白区子ども区民会議	34
特別展示「続け未来へ。つなげ天白」展～天白 今昔物語～	38
絶景天白 ～未来に残そう天白の絶景～	39
かぼっち健康フェスタ	40
ふくし座談会	41
天白区制50周年記念式典	42
天白区制50周年記念事業一覧	43
かぼっちタイムスリップ～天白区50年の時間旅行～	44
数値でみる天白～50年の移り変わり～	47
～笑顔でつなぐ区民の輪～ まつり天白	48
天白 ア・ラ・カルト	50
天白区制50周年記念事業実行委員会名簿	52
ご協力いただいたみなさま	53
おまけのページ	54

平針南学区



区政協力委員会
杉山 元寛 委員長

[人 口] 6,458人
[世帯数] 2,698世帯
[面 積] 1.128km²
[創 立] 昭和49年4月

R7.1.1現在



学区あれこれ

【天白区と共に歩んだ平針南】昭和49年創立の当学区は、自然豊かな緑に包まれ穏やかな地域でした。その後地下鉄開業など時代と共に開発が進み現在に至っています。

【自治会活動】愛知県の開発で昭和39年、県営平針住宅とこれを取り囲む分譲住宅に入居が始まると同時に平針運転免許試験場も開業しました。平針団地自治会は活動を開始した後学区内の他町内会と合流し「学区全域を単一組織の自治会」として六つの部会で活発な事業展開をしています。その中でも、昭和50年から毎月欠かさず発行している「平針ニュース」(R6. 11月現在579号)は全戸配布とし、自治会員以外の方にも地域の動きを知っていただく大きなツールになっています。

【地域活動諸団体】 ●リボン委員会・・・地域委員会の事業を継承し発展させる為に学区内の多くの団体に組織されており、秋のウォーキング大会と春の子どもまつりを行っています。 ●地域福祉推進協議会・・・見守りやお助け活動・会食・サロン・子育て支援など ●おもしろ文庫・・・コミセン2Fで2,000冊の児童向け書物の貸し出し・読み聞かせなど ●でこぼこ山自然クラブ・・・県営平針住宅の中心にある小山を手入れし四季折々の自然を学ぶ ●細口池生き物復活クラブ・・・池の生物観察会と葦を再生しツバメを呼び込む活動、他にも細口池公園スイセンを育てる会や八千代会(シニア団体)・まちづくり検討会などなど。



細口池公園



朝市



ウォーキング大会(11月)



子どもまつり(3月)



平針南キャラクター
みなみちゃん

平針学区



区政協力委員会
近藤 幸文 委員長

[人 口] 11,540人
[世帯数] 5,526世帯
[面 積] 1.673km²
[創 立] 昭和30年2月

R7.1.1現在



学区あれこれ

平針学区は、住宅街の近くに緑地帯が広がる名古屋市最東端の町です。荒池緑地を中心に野鳥の観察ができ、しだれ梅で広く知られる名古屋市農業センターdelafuあーむでは、動物とふれあうことができます。このように身近に自然がある環境で、転入する若い子育て世代と古くからの住民が共存する活気ある町です。

また、創建1100年以上の針名神社や織田信長が桶狭間の戦いの際に祈願したともいわれる秋葉山などの旧跡が残る歴史ある町でもあります。江戸時代初期に徳川家康の命によりおかれた平針宿は街道が交差する要所として発展しました。名古屋城築城の際に生まれた平針木遣音頭は今も伝承されています。

さらに、安心・安全なまちづくりのため、平針学区連絡協議会は「区政協力委員」、民生委員はじめ各団体の構成委員からなる「保健環境」、「交通」、「防犯」、「防災」、「青少年育成」の各部会の活動により地域住民が相互につながりを持ち安心・安全なまちづくりを行っています。



平針木遣音頭



農業センター



歩け歩けフェスタ(5月)



秋祭り(子ども神輿)



作品展(11月)



天王祭(針名神社)



『坂に名前を』平針小学校そばの坂に小学校のみんなで名前をつけました(向が丘1丁目809付近)



平針北学区

川と緑と文化の町

学区の花



区政協力委員会
山田 敬一 委員長

[人 口] 7,954人
[世帯数] 4,700世帯
[面 積] 0.781km²
[創 立] 平成元年4月

R7.1.1現在



学区あれこれ

平針北学区は、平成2年4月に平針学区・原学区から分区独立し、区内15番目の学区として創立され、以後「安心・安全で住みやすく暮らしやすい街」づくりを推進してまいりました。

今後も、お隣どうしが手を繋ぎ合い、学区全体の大きな輪に広がり、幼児から高齢者まで優しい町になりますよう努力してまいります。

【魅力その1】学区内に地下鉄駅が2駅あり(原駅と平針駅)、名二環のICも近く、交通の便最高! また、両駅周辺に商店街も2か所、医療施設も多く、徒歩だけで生活に必要な施設にすぐに行ける便利さ!

【魅力その2】春には川沿いの桜並木が満開に♪桜舞い散る広い歩道を歩けば心も体もリフレッシュ! 川は、川底が道路よりも低く堤防がないため浸水しにくく、土砂崩れの心配も少ない災害リスクが低く安全な町!



交通安全活動
サイン板キャンペーン



青少年健全育成活動
ペットボトルXmasツリー



福祉活動
育児サロン「プチマト」



環境美化活動
地域一斉清掃秋のクリーン活動



防災訓練



親睦・交流活動
納涼夏祭り

原学区



区政協力委員会
横地 健治 委員長

[人 口] 12,885人
[世帯数] 6,468世帯
[面 積] 1.172km²
[創 立] 昭和55年4月

R7.1.1現在



学区あれこれ

原学区は昭和55年4月、平針学区から分区独立して誕生しました。当時の人口は約6,500人でしたが、令和6年には13,000人まで増えています。緑豊かで交通の便がよい、天白区屈指の文教地区と言われる原学区には、安らぎと憩いの場・美しい風景が点在し、生活するにはとてもよい環境となっています。原学区が目指す町づくりは、「心が通い合い、安心して暮らせる安全な町」「はら町」です。区政協力委員会と学区連絡協議会が一体となって、町づくりを進めています。学区行事や諸団体行事も盛んに行われ、交流と親睦・安心と安全・町美と環境美化が図られています。

緑豊かで交通の便がよい 天白区屈指の文教地区



原学区が誕生したころ



天白川と桜並木



眺望木曾御嶽

交流と親睦・安心と安全・町美と環境美化



交流と親睦



安心と安全



町美と環境美化

植田学区



区政協力委員会
中嶋 久興 委員長

[人 口] 10,134人
[世帯数] 5,127世帯
[面 積] 1.031km²
[創 立] 昭和30年2月

R7.1.1 現在



学区あれこれ

植田学区には、南北に突き抜ける道路の両側に地域の名所となっている桜並木があり、春には桜吹雪が舞う美しい景観になります。

夏に盆踊りが100名を超えるボランティアの協力で準備が進められ、2,000名の参加で盛り上がりました。

スポーツが盛んな地域で、春にはグラウンド・ゴルフ大会、秋にはソフトボール大会と運動会、冬にはソフトバレー大会が毎年開催されています。

その他、防犯パトロール、消防団活動、子ども会活動、福祉活動等きめ細かな事業が行われています。

地域の輪をもっと広めていきたいです。



学区内桜並木



夏祭り・盆踊り大会



学区大運動会



町内対抗ソフトボール大会、グラウンド・ゴルフ大会等
だれでも参加できる生涯スポーツが盛んです



『坂に名前を』植田小学校そばの坂に
小学校のみんなで名前をつけました
(元植田2丁目202付近)

植田南学区



区政協力委員会
太田 富美子 委員長

[人 口] 11,478人
[世帯数] 6,198世帯
[面 積] 1.099km²
[創 立] 昭和63年4月
R7.1.1現在



学区あれこれ

植田南学区は昭和63年に植田学区より分区しました。諸先輩方が知恵を出し合い、労力を惜まず「安心・安全で快適なまちづくり」の成果を上げ発展してまいりました。

新しい住民の出入りの多い植田南学区。お互いに思いやり、声を掛け合える関係を一層深め、より快適なまちづくりに努めたいと思います。

また、近年の異常気象による災害が多発している中、防災訓練を積み重ね、住民一丸となって被害を最小限に食い止める強い街を目指して進んでいきます。

“温もりのある街 うえだみなみ 地域の「絆」さらに強く”



学区の
シンボル
みなみちゃん



桜並木



「もみ太」点灯式



天白川



学区総出の盆踊り



運動会 パン食い競争、玉運びは子ども大人也大盛り上がり



植田北学区



区政協力委員会
甲斐 誠 委員長

[人 口] 7,164人
[世帯数] 3,182世帯
[面 積] 1.219km²
[創 立] 平成3年4月

R7.1.1現在



学区あれこれ

北東には牧野ヶ池緑地、西側には植田川が流れ、自然が豊かな街です。

牧野ヶ池緑地内の「竹の小径」は、竹の葉の間から光が差し込む時間帯の散策が荘厳な雰囲気となりおすすめです。

植田川は学区の貴重な資源と位置づけ、今後の利活用を考えています。

名二環、名古屋高速、東名高速の各ICが近くにあり、どこへ行くのにも便利ですが、それでいて静かな住宅街です。

コミュニティセンターと集会所があり、イベントが多く企画され、学区の皆さんが楽しんでいます。



牧野ヶ池緑地



夏祭り(8月)



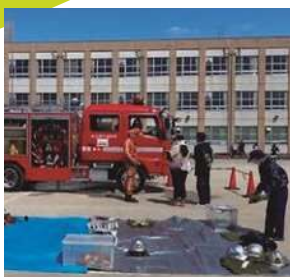
コミセン祭り(9月)



学区運動会(10月)



グラウンド・ゴルフ大会(11月)



防災春祭り(3月)



『坂に名前を』植田北小学校そばの坂に小学校のみんなで名前をつけました(焼山2丁目2101付近)

植田東学区



区政協力委員会
石原 宏 委員長

[人 口] 9,191人
[世帯数] 3,922世帯
[面 積] 0.796km²
[創 立] 平成21年4月

R7.1.1現在



学区あれこれ

植田東学区は平成21(2009)年にできた新しい学区です。

植田東小学校は廊下が広くオープンな校舎で、住民参加のワークショップにより設計されました。

小学校の特活室を拠点に様々な地域活動に取り組んでいます。

学区連絡協議会の特徴は10ある部会を中心に、地域のみなさんの参加のもと地域の交流や安心安全活動を進めていることです。



植田東小学校



夏祭り
2,000人以上の地域住民が集う学区最大のイベントです。



防災フェスタ
2024年に
区制50周年
事業として始めた
防災を地域の
人々に知って
もらうイベント
です



大運動会
学区創設時から続けている行事です 競技会方式で参加しやすくなりました



広報紙



ボッチャ大会



足型マーク設置



防犯カメラ



緑道の清掃

大坪学区



区政協力委員会
浅井 和雪 委員長

[人 口] 10,205人
[世帯数] 5,255世帯
[面 積] 2.411km²
[創 立] 昭和50年4月

R7.1.1現在



学区あれこれ

大坪学区は、天白区で一番北にあり東山公園緑地を含む学区です。

町内会加入戸数は1,800戸ほどで14町内会あります。

戸建住宅の多い植田山地区、ちょっと昔の名残りのある天白溪地区、名城大学のある分譲マンションの多い往還地区、大坪小学校を含め单身アパートが多い大坪塩釜口地区から成っています。

我が学区活動の基本は「世代間の交流が持てる学区を目指す」「住み良い地域を造る努力をする」「万一の時自分たちで地域を守る準備をする」ことです。

区政・連協を中心に広報活動に力を入れ、健康サロンでの催し、各部会での活動、防災意識の向上を目指しています。おおつぼまつりなどの行事も盛大に行っています。



防災訓練、備蓄など防災に力を入れています



健康サロン



ウォーキング大会



おおつぼまつり



定例会

八事東学区



区政協力委員会
近藤 賢治 委員長

[人 口] 12,419人
[世帯数] 6,673世帯
[面 積] 1.470km²
[創 立] 昭和28年4月

R7.1.1現在



学区あれこれ

八事東学区は、室町時代から存在し八事の中心地であった集落が発展して、現在のような住宅地に変貌しました。

学区内の音聞山山麓は、明治天皇、大正天皇が陸軍演習を統監された御野立所があり、付近は桜の大変美しい景勝地となっており、遠くは鳴海地区が臨むことができましたところ。学区内の田畑は、区画整理事業により、住宅地となりベッタタウン化した静かな住宅地として発展しています。

学区ではさまざまなイベント等を開催していますが、一番大きなイベントは学区内の多くの事業者の協力を得て行う「納涼盆踊り大会(2日間)」で多くの学区民と近隣の皆様の参加を得て、毎年盛大に行っています。



学区内の街並み



八事東小学校



夏は祭りだ!みんな踊ろう



のびのびサロン(コミュニティセンターにて開催)
2歳児未満親子育児相談等



『坂に名前を』八事東小学校そばの坂に小学校のみんなで名前をつけました
(左:音聞山1322付近 右:表台179付近)



表山学区



区政協力委員会
上野 克樹 委員長

[人 口] 12,005人
[世帯数] 6,330世帯
[面 積] 1.180km²
[創 立] 昭和48年4月

R7.1.1現在



学区あれこれ

表山学区は、「表山」という地名の通り音聞山、表台、八事山などの丘陵地からなる学区です。名古屋市営地下鉄「八事駅」に隣接し交通の便が良く、閑静な住宅地になっています。

天白区の伝統玩具である八事の蝶々を保存する会では、多くの人々に八事の蝶々づくりを伝えています。

また、サロン活動にも力を入れており、地域の皆様が身近な場所に集まって、気軽に楽しく仲間づくりや生きがいを、居場所づくりを行い、地域でいつまでも生き生きと暮らせるよう、様々な交流の場を設けています。



八事の蝶々保存会
多くの人々に八事の蝶々づくりを伝承しています



連合子ども会
約150人の子どもが在籍



八事山年輪会
名古屋最大級のシニアクラブ



あいあいクラブ 65歳以上対象の活動です
いつも笑い声があふれる大人気のサロンです



『坂に名前を』表山小学校、御幸山中学校そばの坂に小・中学校のみんなで名前をつきました
(左:表山2丁目704-14付近 右:御幸山1205付近)



天白学区



区政協力委員会
伊藤 邦夫 委員長

[人 口] 14,858人
[世帯数] 6,581世帯
[面 積] 2.006km²
[創 立] 明治40年1月

R7.1.1現在



学区あれこれ

天白学区は、天白区で一番歴史のある学区の一つです。

明治39年に地域の4つの村が合併して天白村が誕生し、各村にあった小学校を合わせて天白尋常小学校ができたことに由来します。

歴代の委員長からバトンを受け継ぎ、様々な方の多大な尽力で今日まで続けることができております。

天白コミュニティセンターは、昭和58年2月に天白区内で最初のコミセンとして竣工し、今日まで続いてまいりましたが、令和7年4月に新たに生まれ変わります。新しくなったコミセンを地域の活動拠点として、学区がますます発展することを願っています。



豊かな自然のある 天白公園



三世代交流芋ほり たくさん取れました!



ふれあい いぎいきサロン



子ども食堂ぱくぱく(毎月第四土曜日)

山根学区



区政協力委員会
太田 堅治 委員長

[人 口] 8,811人
[世帯数] 3,919世帯
[面 積] 1.703km²
[創 立] 昭和50年4月

R7.1.1現在



学区あれこれ

山根学区は江戸時代に島田村の支村であった菅田地区、昭和40年から50年代初めの区画整理により宅地造成された中央地区、名古屋市と天白村が合併した昭和30年代初めに市と土地所有者とで共同開発された一つ山地区の3地区で構成されています。それぞれが時代とともに発展し多くの人々が住むようになりました。

現在の学区は地下鉄沿線から遠いということはあるものの、果樹や野菜の畑が点在し相生山緑地もあり緑豊かな地域です。また、ここ10年程で病院や個人医院などの医療施設やデイサービスセンターなどの高齢者施設が充実してきました。さらに保育園・幼稚園・施設内保育園なども増え、乳幼児から高齢者までの皆さんが住みやすい生活環境となってきました。学区の皆さんがこの好環境の中で快適に住み続けて頂ければと願っています。



相生山緑地
山根、相生、野並学区にまたがる里山



保呂公園盆踊り(8月) みんな楽しみにしています



ふれあい食事会 むつみ会
昼間お一人の高齢者の方の食事会



子育てサロン ひばりっ子
0～3歳のお子様を持つ保護者のサロン

しまだ学区



区政協力委員会
大和田 委員長

[人 口] 7,203人
[世帯数] 3,450世帯
[面 積] 0.697km²
[創 立] 昭和47年4月

R7.1.1現在



学区あれこれ

私たちの町には、大根荘や御前場荘などの市営集合住宅があります。集合住宅ならではの結束力のある自治会があり、住民同士の助け合いや交流が盛んな地域です。商業施設が充実し、賑やかな一面を持ちながらも、ベッドタウンとして静かで落ち着いた街並みが広がり、誰もが安心して暮らせる環境が整っています。

さらに、名古屋市が管理する「島田緑地自然生態園」という湿地園があり、希少な八丁トンボや白玉星草を間近に観察できる自然豊かなスポットも魅力です。そこは学区内の住民にとって心安らぐ憩いの場であり、四季折々の風景を楽しむことができます。

また、令和6年にしまだ小学校と高坂小学校は統合され、令和9年度にはしまだ小学校の場所に、新しい「たかしま小学校」の校舎が完成する予定です。地域の人々が支え合い、自然と都市が調和したこの町で、皆さまを温かくお迎えします。



島田緑地 自然生態園



秋祭り(10月) 子ども神輿
みんなでお神輿、ワッショイ!



地域の見守り活動



しまだ小学校 ありがとうしまだ小学校 令和9年度に
たかしま小学校が新校舎へと生まれ変わります!

高坂学区



区政協力委員会
東 徹 委員長

[人 口] 3,290人
[世帯数] 1,706世帯
[面 積] 0.348km²
[創 立] 昭和44年9月

R7.1.1現在



学区あれこれ

高坂学区は、天白区の南東部に位置する高台の学区で、初夏にはさわやかな風が吹く暮らしやすい学区です。

高坂連合自治会（5自治会、5町内会）では、安心・安全なまちづくり、快適なまちづくり、「共助」によって災害に強いまちづくり、地域で楽しめる行事、イベントの開催、暮らしに役立つ情報伝達など、だれもが安心・安全で快適に暮らせる地域づくりを目指して日々活動しています。



夏の風物詩 盆踊り(7月)



古希を祝う会(9月)



高坂まつり(11月)



名物「高坂鍋」(豚汁)には長蛇の列!



SP(Smile Partner)(スマイルパートナー)事業
シルバーパワーを活用した地域力再生事業

相生学区



区政協力委員会
吉沢 征洋 委員長

[人 口] 4,464人
[世帯数] 2,182世帯
[面 積] 0.494km²
[創 立] 昭和50年4月

R7.1.1現在



学区あれこれ

相生学区は、その昔は地層が陶土に適していたこともあり、土器が焼かれていました。相生山団地周辺からは、土器の破片も出土しています。

現代ではその面影はなくなりましたが、西に相生山緑地、南に戸笠池があり、自然い〜っぱいの街です。

子どもからお年寄りまでふれあいの輪を広げ、親睦を図るため、様々な行事を行っています。行事を通じて、顔見知りをより多くして、相生に住んでよかったと思ってもらえるような活動を心がけています。



歓声が飛び交う、秋の大運動会!(10月)



コミセンまつり(11月)

相生小学校40周年
キャラクター



あいポン



ちびっこサークル(月曜開催)



グラウンド・ゴルフ(火曜・木曜開催)



ほたるん

野並学区



区政協力委員会
近藤 憲市 委員長

[人 口] 12,317人
[世帯数] 6,329世帯
[面 積] 2.372km²
[創 立] 昭和44年4月

R7.1.1現在



学区あれこれ

天白区の最南部に位置する野並学区は、緑区に接し、古来、鎌倉街道をはじめ交通の要地とされてきました。熱田神宮と縁が深い八劔社は、街の歴史を見守り続けています。

学区の東部に広がる相生山緑地は、ヒメボタルの生息や、竹林の路、オアシスの森など、地域住民の憩いの場であり、散策やイベントが行われています。

また、多目的広場ではグラウンド・ゴルフ、ソフトボールなど各種スポーツが盛んに行われています。

平成12年の東海豪雨では学区の半分以上が水没し、未曾有の大災害となりましたが、復興に向けて、「のなみ元気まつり」が創設され、地域一丸、野並学区の発展のシンボルとなっています。



のなみ元気まつり



マルシェ(芋煮会)(1月)



会員数約200名を誇る
野並シニアクラブ連合会



野並消防団
名古屋で最古の消防団のひとつ